

## 会 議 録

会議名	平成 24 年度第 3 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 24 年 12 月 8 日（土）午後 4 時 00 分～6 時 15 分	
開催場所	八王子市郷土資料館集会室	
出席者	委員	大村のり子、小野一之、田村知美、西嶋佳子、深栖義昭、藤岡換太郎、吉田幸子（50 音順）
	事務局	牛山清志生涯学習スポーツ部主幹（こども科学館担当）・田島巨樹郷土資料館長（文化財課長）・森融こども科学館担当主査・戸井晴夫郷土資料館担当主査、木住野直彦郷土資料館担当主査
欠席者	柿崎博孝、田野倉宏和、山中幸生	
議 題	協議事項 1. 特別展「八王子城」について 2. こども科学館・郷土資料館平成 24 年度前期（4～10 月）事業実績について 3. その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議次第</li> <li>・ こども科学館事業実施状況（平成 24 年 4～10 月分）</li> <li>・ 郷土資料館事業実績（平成 24 年 4 月～平成 24 年 10 月）</li> </ul>	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>特別展「八王子城」について戸井主査より説明。続いて八王子市こども科学館の事業実施状況について牛山こども科学館館長から説明。更に八王子市郷土資料館事業実施状況について田島郷土資料館長から説明。</p> <p>— 質疑応答 —</p> <p>小野会長 両館の説明をいただきました。ご意見等いただければと思います。よろしく願います。</p> <p>大村委員 こども科学館の入館者数について、7月が少なかった原因は何でしょうか。</p> <p>牛山館長 前年7月の入館者が多かったのは、震災の影響で他の場所に出かける子供が減り、科学館に来館されたと考えられるのがひとつ。また、それに比べ今年は、節電等で科学館に来館される機会が少なかったというのがふたつ目の原因として考えております。イベントは、昨年とほとんど変わりません。</p> <p>大村委員 こども科学館についてですが、入館者があまり増えないですね。2階にある‘魔法の鏡’を動かしてみてもどうでしょうか。</p> <p>森主査 ‘魔法の鏡’については、ストロボをつけっぱなしにすると子どもに悪影響がある可能性がありますので、現在動かしておりません。時間等を決めて人が付けるようになれば、動かすことができるのではないかと考えております。</p> <p>大村委員 ボランティア等が付けば動かせますか。</p> <p>森主査 はい。</p> <p>西嶋委員 郷土資料館についてお尋ねします。入館者数に関してですが、大人の人数からすると子どもの人数が少なくなっています。資料中の1.入館者個人・団体内訳の子ども団体数の18は、小学生なのか。また、八王子城跡ガイダンス施設の入館者人数のうち大人と子どもの割合は。</p> <p>田島館長 子どもの団体数のほとんどは、市内の小学校の社会科見学です。八王子城跡ガイダンス施設の大人と子どもの人数についてはカウントしておりますが、本日その数字を持ち合わせておりませんので、次回の協議会にて報告させていただきます。</p> <p>西嶋委員 八王子城跡ガイダンス施設の入館者は、団体というよりも個人で来館している人の方が多いですか。</p> <p>田島館長 団体よりも個人あるいは少人数のグループで来館している</p>
-----------------------	---

	<p>ケースがほとんどです。</p>
深栖委員	<p>子どもの入館者数について、こども科学館は多いが、郷土資料館は少なくどうにか増やせないかと考えております。資料中にある子どもを対象としたイベントはどれでしょうか。子どもに人気のあったイベントを増やしてみるのも、入館者増に繋がるのではないのでしょうか。</p>
田島館長	<p>お子さんを対象とした講座は、体験学習「火おこしと縄文土器づくり」と体験学習「昔の農具にふれてみよう」です。</p> <p>子どもの来館者が少ないのは、学校での歴史学習の開始時期が、6年生以降となるのが主な原因ではないかと考えます。</p> <p>ただし、子どもの来館者を増やす努力は行ってゆきたいと思います。</p>
深栖委員	<p>私の孫がいろいろなところからパンフレットを貰ってきます。小学校低学年のお子さんは、親と一緒にないと来られないと思います。よって、親子で来られる様なイベントを企画してみたいかがでしょうか。</p>
田島館長	<p>参考にさせていただきます。</p>
田村委員	<p>両館に共通した質問ですが、企画展の立案過程を教えてください。また、公立博物館等の意見交換会等の連携はありますか。また、‘八王子かるた’について詳細をご説明ください。</p>
牛山館長	<p>企画展に関してこども科学館で唯一展示できたのは、象の展示です。今後、展示場所の確保できれば集客に結び付くのではないかと考えておりますが、場所の確保並びに専門職の不足で多く開催できないのが実情です。</p>
田村委員	<p>こども科学館は、企画展というよりもイベントの色合いが強いのと思うのですが、内容に関してはどうやって決めているのでしょうか。</p>
牛山館長	<p>こども科学館のイベントの企画につきましては、昨年良かったこと等を取り入れ決定しております。なお、夏休み期間中は、イベントを毎日行うようにしております。</p>
田島館長	<p>郷土資料館の企画展につきましては、前年度予算編成の段階で、資料館で持っている資料の内容等を総合的に判断して前年の秋位に決定しております。</p> <p>‘八王子かるた’は、子どもを中心にかるたを通して、八</p>

王子の歴史について学んでいただくというものです。平成 16 年度に一度発行したものを今年度再販いたしました。

他市との意見交換につきましては、多摩地区に東京都市社会教育課長会文化財部会、東京都文化財保存整備区市町村協議会や東京都三多摩公立博物館協議会等がありまして、それらを通じて情報収集に努めているところです。

吉田委員 「八王子かるた」を B4 版で何部か印刷をして、ファミリーを対象にした「かるた会」などを開催してみても良いのではないのでしょうか。

また、人数が少ないからといって、郷土資料館で開催した講座「八王子空襲と戦時下の生活」やこども科学館で開催した「日食」のような講座は、やめることなく毎年開催してもらいたいと思います。これらの講座は、受講した子どもが何年かした後、「あの時学んだことは、こういうところに繋がっているんだ。」などと再認識する機会を与えるという効果も見込めるのではと考えています。これらの講座の存続することによって、両館がこれらの機会を与え続ける場所であってもらいたいと考えております。

それから、前回の博物館協議会で、八王子城の石垣は、砂岩でジュラ期のものであると藤岡委員がおっしゃっていました。ジュラ期という言葉がどこかに表示されていれば、「八王子はいちちょうの街だ。」とか「ジュラ期だ。化石も出てきたんだ。」などとそれがキーワードとなって、子どもの中で熟成されて行くことに繋がって行くと思います。分かりやすくするということが大事ですが、そういう情報を表示して行くことも必要ではないかと思えます。

また、八王子市史編さんの講演会に行っておりました。集まって来る人は八王子好きでした。八王子にしかないもののお話が出ると非常に喜んでいました。私は、そういう意味でのアピールが大事ではないかと思えます。八王子にはこんな良いところがあるということで、こども科学館の 7 月の入館者は、一時減りましたが、その後盛り返してきたのは、「こども科学館はやはり良いところなんだ。」という現れなのではないか感じております。

八王子の歴史入門についてですが、第 1 回目のときに概説がありましたが、歴史を余り知らない人にとっては良く分か

	<p>らず、良く知っている人にとってはそんなことかという声が聞こえました。私はこの講座を聞かせていただいて、受講者の方は家に帰って、「こんなおもしろいことがあった。」などとお家の人に話をしているだろうかと考えました。おじいちゃんやおばあちゃん達が、孫に語れるような1回にしてもらいたいと思っております。</p> <p>戸井主査 八王子の歴史入門についてですが、これはあくまでも入門でして、八王子の歴史についてご存じではない方を対象にして始まったものです。全3回のもので、どうしても第1回目は概説的なものとなってしまいます。</p> <p>吉田委員 それがすごくもったいないという感じがします。もっと八王子にはこんな魅力的なものがあるんだというような回にしてもらいたい。</p> <p>戸井主査 来年度は切り口を変えて行くか等、検討してみたいと思います。</p> <p>田島館長 まず、自然系の話ですが、八王子市では自然系を把握する担当が希薄です。東京都高尾自然科学博物館で保存されていたものが、現在、寺田町にある旧稲荷山小で保存しております。今後、その活用方法も具体的に考えて行かなければならないと思っております。</p> <p>また、今年1月に象の牙が出土して、5月にこども科学館で展示をしましたが、この時、自然系も取り扱う部署が必要であると郷土資料館長として感じました。</p> <p>八王子の歴史入門についてですが、専門的な部分は、市史編さん室で行っておりますので、今回役割分担をしました。今後、市民の方々が学びたいものを提供できるように検討して行きたいと考えております。</p> <p>藤岡委員 田島館長がお話しされていた‘自然’をもう少し手厚くして行くことには賛成です。八王子市も例えば、市制100周年を目途に自然系の博物館やジオパークなどを立ち上げるというのも良いのではないのでしょうか。八王子市には高尾山というものがありますが、資料が眠っているのはもったいない。そういった施設を立ち上げるといったことを考えていったら良いのではないかと思います。</p> <p>小野会長 こども科学館では、前期に天文現象で金環日食がありまし</p>
--	--

	<p>たけど、他ではそれに匹敵することがふたつありました。ひとつ目は、7月末に多摩六都科学館がリニューアルオープンし、ギネスブックに登録などという記事も見ました。ふたつ目は、4月に川崎市青少年科学館がリニューアルオープンということがありました。</p> <p>こども科学館・郷土資料館とも毎回毎回対前年度比を上回り、突っ込みどころがない状態ですが、だからこそより良い方向に向かって行けるよう各委員の意見を踏まえていただき、また、数字に一喜一憂することなく進めていっていただければと切に願っています。</p> <p>次に3.その他事項について何かありますか。</p> <p>田村委員 前回の協議会で話のあった‘新博物館に関する要望書作成’の件は、行っていくということでよろしいでしょうか。</p> <p>小野会長 自然分野も含めた新博物館に関する要望書作成について、前回の協議会にて話が出ましたが、委員さんの総意をまとめたものでもありませんでした。今後、事務局で必要かどうかを検討していただきたいと思います。</p> <p>田島館長 新博物館に関する動きがあった場合は、まず協議会にお話しをさせていただきたいと思います。</p> <p>市の基本構想・基本計画のなかでどう位置づけていくか、事務局の方で検討していきたいと考えております。現在、新基本構想・基本計画は策定中であります。なお、市民からいただいた基本構想・基本計画の素案の中には‘歴史系博物館の建設‘というものが謳われております。</p> <p>藤岡委員 タイミングとしては、市制100周年という時期が狙いだと思います。この場が、どういうものを作るかというディスカッションする場であっても良いのではないかと思います。そのためには他館の状況を勉強していくことも必要です。</p> <p>小野会長 次回、そういった時間もいただければ検討することも必要ですが、協議会の委員が先走ってやって良いものなのか。しかし、慎重にはあるが、任期が終わるまでになんらかの形に残し、次のステップに繋がればと思います。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>無いようですので、平成24年度第3回博物館協議会を終了させていただきます。</p>
--	--